



つながり

奈良県立ろう学校 特別支援部
2022年 11月号

担当者研にご参加いただき、ありがとうございました

2学期がスタートし、2ヶ月が経ちました。体育大会、文化祭、学習発表会など行事も目白押しで、先生も子供達も勤しんでいることでしょう。

さて、夏休み中に本校で実施しました担当者研究会にご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。以下に研究会の様子とアンケート結果をまとめさせていただきますので、どうぞご覧ください。



きこえない又はきこえにくい自分に気づくことの大切さ ～聴覚障害者として主体的に生きる力を育てるために～

★講師紹介

奈良県立ろう学校 中学部主事 吉本努 氏
(一社)奈良県聴覚障害者協会 小川廉 氏

★講演内容

ろう学校や地域の難聴学級で育った中で、自身の経験や体験を振り返りながら、自己理・障害受容をしていったきっかけや、学校での必要な支援の在り方についてお話していただきました。

研修会の様子

第一部では、講師の先生方から、生き立ちや学校生活を振り返っていただきながら、必要な支援や先生の心構えをお話いただきました。お話の中では、1989年頃までは口話が重視されていたことや、「手話」という言語は、意味が理解しやすくそれが生きた日本語にもつながること等、ろう教育にも触れられ、丁寧にお話いただきました。講師の先生が大事にして欲しい指導とは、「心を育てること」です。障害受容だけでなく、将来の自分の生き方や自立にもつながる大事なことだと気づかされ、有意義な時間になりました。

第二部では、現在担当してる児童生徒への支援について感じていることや悩んでいることなどの情報交換会を行いました。少ない時間でしたが、他校の取組を違いに知ることができました。ご参加ありがとうございました。

コロナ感染症の影響がまだまだ残る中の開催でしたが、無事開催できましたことを嬉しく思います。また、参加していただいた先生方には心から感謝申し上げます。今後も、有意義な時間が過ごせますよう、工夫を試みながら進めていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

アンケートまとめ

【講演を聞いて】

○講師の先生方の生き立ちを踏まえての人生成長を伺い、向上する気持ち、葛藤など聞くことができ、私の生き方も考える機会になった。

⇒ 裏面へ続きます

○聞えない、聞えにくいことに気づくまでのプロセスやその中での感情の変化など、とても興味深く、もっと聞きたい、知りたいと思うことばかりでした。自己理解、障害受容をし始めたときに、沢山の選択肢の中から当事者が自己選択していけるような経験を一緒にしていきたいと思いました。

○手話以外に口話法やキュードなど色々なものがあって驚きました。口話練習が大変で、話すことにストレスはなかったのでしょうか。

○中身を変えるのは自分しかないという考えになるまで(行き着く)まで、「考えを切りかえる工夫」すてきだと思った。また手段を色々試すことの大切さ、必要性も感じました。壁を乗り越える力も育てたいと思いました。

○手話を自分がどれくらい読み取れるのかも分かって良かった。わかることがあると、もっと手話も勉強したいいきもちになります。まだ恥ずかしくて勇気がなくて手話で話すことができませんが、頑張ろうと改めて思いました。

○担当している児童は、補聴器だけでほぼ聞えている。マイクを使用しなくても「聞えているからいらぬ」という。壁にぶつかったときの対応の方法を身につけておいてほしい。考え方、様々な視点からの学びの力の助けになるよう、個人またはクラスの仲間との交流の架け橋となれるよう支援できればと思う。

○地域の現状が分かって良かった。環境や発達段階によって課題とされることや必要な支援が違うことも学べて良かった。

【情報交換会に参加して】

○様々な校種の先生方、聞こえの程度も様々で情報交換ができてよかった。幼稚部から小学校の引き継ぎ方法も大切だと思いました。

○各先生方からいろんな話が聞けて、同じ悩みのある先生もいて、とても心強いと思いました。

○ろうの児童の思いに気づく大切さ、ろうにも個人差があってそれにより支援の方法が違うように教師のあり方にも工夫がいると感じた。

その他、来年度の研修の持ち方についてもご意見をいただきましたので、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。



参加していただいた先生方から、**もっと** 知りたい! とご意見をいただきました。

講師の先生の助言を頂きましたので、ご参考にしてください。

★「きこえ」で不安になったとき、どんな支援を望みますか？

⇒「きこえ」で不安を感じたときは、パニックにならないように、冷静を保つことを意識しています。キョロキョロ回りを見ていたら、声をかけてもらうと(情報がわかったら)自分で動けます。

★「心の成長」を促す方法を教えてください。

⇒同じ仲間を見つけること、先輩との関わりの機会を持つことで、自分が目指す将来像が見えてくるはずです。それによって心の成長も伴ってくると思います。

★「重複の児童の自立活動」を教えてください。

⇒ALTの先生(英語)はASLを楽しむことや集団遊びとして「だるまさんが転んだ」などを行っています。

たくさんのご意見ありがとうございました。全て載せられず、一部掲載になりました。

本当に、ありがとうございました。